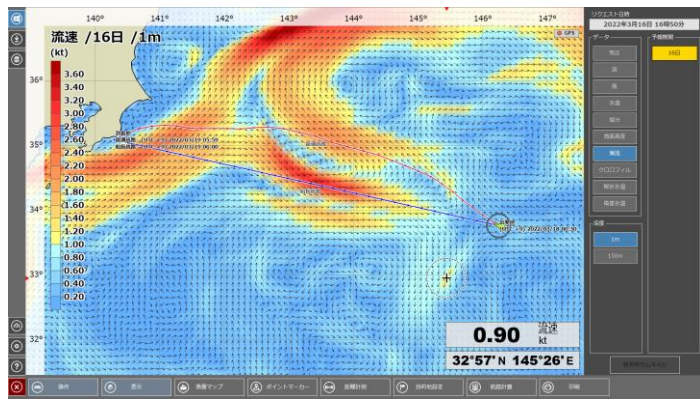


海天・近海版の表示例(水温・水深1m)  
右下はGPS受信機



最少燃料航路の計算例(近海カツオ漁船)  
漁場から勝浦までの航海時間を29.5hとした場合、赤い最少燃料航路は黒潮の逆流を避けることにより、青い直航航路に比べ、燃料を0.91kL(23.1%)節約できた。

## (導入による効果)

- ・衛星通信等により、海天・近海版では日本近海、海天・グローバル版では全世界の海域において、風、波、衛星水温、海面高度や、いろいろな水深の海流、水温、塩分などを提供でき、効率的な漁場探索が行える。

- ・11日先までの海面気圧、風および波の予測を提供でき、安全な操業が行える。

- ・目的地までの最適航路(最短時間航路または最少燃料航路)が計算でき、10~20%の航海時間短縮・燃料節約が可能となる。

- ・GPSによる自船位置が表示でき、最適航路上を航走できる。また、GD-700(古野電気製プロッタ)上に最適航路を表示できる。

- ・漁獲マップ機能があり、漁獲位置を日時、魚種・サイズ・漁獲量、水温、流向・流速などと共に記録できる。

- ・希望価格(税抜き): 近海版、グローバル版とも250,000円(海天ソフトをインストールしたPCの価格)

- ・(株)海洋総合研究所

東京都中央区日本橋堀留町1-3-17

担当者: 萩原 秀樹

電話: 03-5614-8864

E-mail: hagiwara@osti.co.jp